

開発途上国の課題解決で ビジネスチャンスをつかむ



岐阜県



日本式金型技術でインド製造業の高度化を支援



現地の大学に技術提供 広がる人材ネットワーク

課題だったローカルパートナーの確保にもつながるため現地で金型の技術提供を決めました。17年にインドの大学でモジュール金型教員の育成プロジェクトを開始しました。JICAの支援で工作機械が導入され、実践的な教育ができるようになりました。当社が大学に教育カリキュラムを提供するなど、予想もしませんでした。資金援助や専門家のバックアップ、公的機関との関係づくりなどJICA事業活用のメリットは語りつくせません。

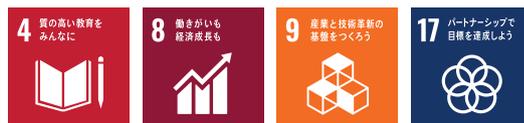
当社には今、現地で対応できない金型の相談や発注も増えています。教育カリキュラムを修了した人材は、インド各地で金型の指導者になります。人的ネットワークも広がり、ビジネスとしても手ごたえを感じています。インドの製造業が高度化すれば、日系企業の支援にもつながるため日本式金型の普及にやりがいを感じています。

取引先のグローバル化に対応 金型の現地供給を模索

当社は自動車部品や水栓関連向けを主力とする金型専門メーカーです。近年、製造拠点のグローバル化にともない、金型の輸出が増えています。取引先から現地での金型供給の依頼もありましたが、文化の違いやリスクも考慮し拠点開設ではなく、一緒に金型を製作してくれるローカルパートナーを探していました。

得意としているのはコアユニット(性能差別化部)とベースユニット(一般部)で構成される「モジュール金型」。技術的に難しい部分は当社で、容易な部分を現地のパートナーに作ってもらうことで品質保持とコスト削減の両立が可能になります。

インドは自動車製造の一大拠点になると予想されています。2016年にJICAの事業に採択され現地調査を行いました。これまでに何度もインドに足を運び、インド政府がエンジニアの育成に力を注いでいることは知っていましたが、金型製作の水準は予想以上に低いことが分かりました。教育現場には機械設備もなく、ドイツの金型の教科書を読み上げるだけといった状況でした。



株式会社岐阜多田精機

岐阜市東改田字鶴田93番地

代表取締役社長 多田 憲生さん

お問い合わせ先

JICA(ジャイカ)中部
企業連携課

☎052-533-1387(直通)

✉cbictps@jica.go.jp